

社会福祉法人ぶるーむ
平成30年度事業計画書

社会福祉法人ぶるーむは、全事業を障がいを持った子どもたちの自立と、そのご家族の笑顔をサポートし続けることを理念に活動してまいります。

1. 新たな取組み

昨年11月に0～3歳の月齢が低い児童を対象に、児童発達支援「ひだまりっこピーチ」をオープン、からだづくり、身辺自立、外遊び等、それぞれにあった療育を母子分離で行っています。

子育ての悩み等、保護者のサポート的役割も担っています。

30年度、ぶるーむとしては初めての知的障がい者のグループホーム「風の木」を大津ヶ丘に開所いたします。

2. 各事業所テーマ

児童発達支援ひだまりっこ	母子分離による完全送迎。マンツーマン体制による療育。電車遠足を目標に年間を通じた取り組み ひだまりっこピーチ開所に伴い、ひだまりっこは年少～年長の3学年になりました。より活動的な療育、遊びの強度もダイナミックに取り組んでいきます。
児童発達支援ひだまりっこピーチ	専門職の直接療育の事業所が増える中、高評価の分野で特化しようと思っています。 大人数の「地域交流」センターや教室型事業所では取り組みづらい、健常児との関わりや社会参加をします 「工夫されたあそびと段階に合った身辺自立」買ってきた教材が出来ない、普通に水のみが出来ないときに、何をしたら良いのかを保護者に伝え、工夫やコツをお知らせできる事業所と認知してもらいたいです。 「保護者と直接対話」送迎時に相談、引継ぎなどが出来ます。利用者さんご本人への支援が一番ですが、保護者の方の信頼獲得や、要望聞き取り、家族支援がとても重要でした。毎月、アンケートを行い、要望に応えられるよう柔軟に対応していきます。
児童発達支援ひだまりっこα（主に重心）	地域医療・福祉と協働し、家族一単位としたケアを考えて支援 重度障がい児の遊びの充実。安全で事故のない医療的ケアの提供
放課後デイサービスひだまりα（主に重心）	・どんなに医療依存度が高いお子さんでも、安心して通わせられる事業所。 そのために、看護師が自己研鑽しスキルアップしていく。また、家族一単位の看護をし、利用者家族との信頼関係構築に力を入れています。 ・いろんな障害のあるお子さんたちが、円になって過ごせる。 ・他職種（医師・訪問看護師・訪問介護・PT/OT・相談支援専門員など）と協働し、継続的な医療的ケアをしながら、体調の安定

	に努め、楽しく遊ぶ。
放課後等デイサービスひだまり	放課後等デイサービスひだまりでは、お迎えを保護者に担っていただくことにより、活動時間を充実させ、計画した制作活動やお友達との遊びを通し、成功体験を積み重ね、自己肯定感を育てていきます。
生活介護オレンジ	ゆっくり班・アクティブ班と分かれ、一律に同じ活動をするのではなく、それぞれの利用者様に合わせた活動の充実を図っている 製菓の製造、販売を通して社会貢献を行う
居宅支援アライブ	東葛地区一、喀痰吸引等の医療的ケアに対応できる事業所
特定/障がい児相談支援ティーンズ	拠点機能を担う相談支援事業所としての体制作りと対応向上

3. 主な取組み

児童発達支援ひだまりっこ	<p>今年度もひだまりっこは、新しいお友達がたくさん入園します。ピーチからひだまりっこに入園するお友達もいますので、ピーチのスタッフとの引継ぎを密に行い、ひだまりっこに楽しく通えるようにサポートします。</p> <p>【からだづくり・身辺自立】（前年度変更なし） からだづくり…全身運動、マッサージ、細かい所作へと、せいかつ の土台をはぐくみます。一人一人の発達に応じた働きかけをし、リ ラックスした日中生活が送れるように勤めます。 身辺自立…着替え、水分補給、コップのみ、トイレトレーニングな ど。ご家庭での取り組み、集団生活での繰り返し、共に歩んでいこ うと思います。</p> <p>また、一人一人の療育課題を明確にし、保育者全員が共通目標とし、 集団の中でも個々の課題を中心に働きかけ統合的な発達へつなげて いきます。</p> <p>【地域交流】社会参加、近隣公園、公共施設に出向く機会を積極的 に持ちたいです。児童発達支援ガイドラインにも地域交流の項目が ありますので、ピーチと共に子育てサロンや児童センターへ参加を していきます。</p> <p>運転できるスタッフが減ってしまい、外出の機会が減りました。運 転できるスタッフを募集して外出の機会を取っていきたくたいです。</p> <p>【スタッフ育成】新規スタッフも増えました。スタッフを育成する と共に、ひだまりっこの療育の大元は変わらないように。常に初心 を忘れず、「利用者様とご家族第一」で日々の療育を大切にしてい きます。そのためにもスタッフ間の情報共有を、ミーティングや日々 の引き継ぎ書にて、しっかりとしていきたいと思ひます。</p>
児童発達支援ひだまりっこピーチ	どんなに医療依存度が高いお子さんでも、安心して通わせられる事 業所。そのために、看護師が自己研鑽しスキルアップしていく。ま た、家族一単位の看護をし、利用者家族との信頼関係構築に力を入 れていきます。
児童発達支援ひだまりっこα	●α発信の勉強会（肺ケア・関節可動域訓練・摂食・呼吸管理等）

<p>(主に重心)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●受け持ち制（担当制）看護 ●学生実習のマニュアル化 ●各種書類の整備・整理 ●重心児への遊びの工夫 ●他施設への見学（取り組みや工夫点を学ぶ） ●多職種との協働看
<p>放課後デイサービスひだまりα (主に重心)</p>	<p>・看護師・支援員の為の勉強会（肺ケア・関節可動域訓練・摂食）</p> <p>・モニタリング後の情報をきちんと共有し、利用者の療育へ生かす。</p> <p>・遊びの種類ややり方を一冊にまとめ、「何して遊んだらいいかな？」をなくしていく。</p> <p>↑遊びをずっとしなければいけないわけではないが、それを望むお子さんへの提供を怠慢なく、したい。</p>
<p>放課後デイサービスひだまり</p>	<p>お迎えの時間、個別面談、保護者会を通し、保護者との情報の共有を深め、要望を取り入れながら活動内容に生かしていき、個々の自己決定、自己選択を促すよう支援していきます。</p>
<p>生活介護オレンジ</p>	<p>製菓の活動の充実</p> <p>サークル活動を行い、オレンジでの楽しみを増やす</p> <p>サークル⇒音楽サークル・グルメサークル・絵本サークル・美術部・園芸部</p> <p>利用者様がどれかのサークルに所属して、一年単位で活動を決め、それを行い、最後に発表する機会を設ける</p> <p>利用者様の活動の充実を図るために、スタッフの教育を行う</p>
<p>居宅支援アライブ</p>	<p>ヘルパーのスキルアップ、喀痰吸引研修（不特定者）修了者の育成</p> <p>男性ヘルパーの獲得と育成</p>
<p>特定/障がい児相談支援ティード</p>	<p>・地域生活支援拠点事業を受託するにあたり、配置する相談員に専門性の担保として専門職の配置が求められている。また今年度の委託事業評価においても専門職の配置状況についての指摘があった。</p> <p>また来年度以降、拠点としてさらに幅広い状態像の方への相談対応が増えることが予想され、更なる相談員の対応力向上が必要と感じる。積極的に資格取得や専門研修の受講等、相談員の質を高める機会を作っていく。</p> <p>・個々の相談員がそれぞれ専門性の高いケースに対応するようになってきており、事業所内での情報共有やスーパーバイズの必要性を感じる。定期的にケース共有ミーティングを行う時間を作り、個々の相談員が「ぶるーむ/ティードらしい対応」ができてきているかの検証や困難感を感じた際に互いに助言できる機会や土壌作りとしたい。</p> <p>・30年度の報酬改定で相談員1人当たりの担当件数に制限が設けられた一方、積極的な事業所訪問やケース会議開催等の業務が加算として評価されることになっている。加算有りきの形骸化した業務にならないよう、上記のケース共有等を会議や訪問の目的等を明確にする機会としたい。</p>

4. 主な行事予定

	本部	ひだまりっこ	ひだまりっこ ピーチ	ひだまりっこ アルファ	ひだまり・ ひだまりアルファ	オレンジ
4月	第4回笑福祭	入園・進級行事 (手型・足型)	成長のきろく	入園行事(手型・足型)・保護者会	花見/鯉のぼり制作/野菜ジュースケーキ作り/笑福祭・保護者会	入所式 笑福祭
5月	理事会	徒歩遠足	公園あそび	徒歩遠足 看護師勉強会	母の日制作	
6月	評議員会	レクレーション大会・個別面談	てあそびうた・スヌーズレン(ひかりあそび) 個別面談	レクレーション大会 スタッフ面談	父の日制作/彩会スポーツレク参加/ /	彩会スポーツレクレーション
7月		水あそび 調理(ゼリー)	水あそび からだあそび	水あそび・調理(ゼリー) 看護師勉強会	ラスク作り/お買い物ごっこ/個別面談	つくしが丘 夏祭り・味噌作り
8月	防災避難訓練	水あそび	水あそび かきごおり	水遊び・ごっこ遊び	七夕飾り/ゼリー作り/お祭りごっこ準備/水遊び/個別面談	
9月		感覚あそび	感覚あそび 段ボールあそび	感覚あそび 看護師勉強会	水遊び/お祭りごっこ/近距離遠足(車両)	
10月		電車遠足 ハロウィン	公園あそび ハロウィン	遠足(市川動物園)・ハロウィン・個別面談	敬老の日制作/野菜ジュースケーキ作り/ボーリングゲーム	光ヶ丘ふれあい祭・保護者会
11月		お芋掘り・音楽あそび・劇あそび・野菜ハコ・勤労感謝・個別面談	音楽あそび 個別面談	リトミック・ルールのある遊び・劇遊び・看護師勉強会	ハロウィン/スイートポテト作り/運動会ごっこ/保護者会/個別面談	増尾近隣センターバザー、ハロウィンイベント
12月		Xマスケーキ会 Xマス制作・年賀状制作・大掃除	クリスマス えほん	Xマスケーキ会 食・年賀状制作 スタッフ面談	勤労感謝の日制作/増尾近隣センターバザー/チーズサブレ作り/個別面談	彩会Xマス会
1月		初詣・書初め・調理・ごっこ遊び	書初め・ブラッシング	初詣・書初め・調理・看護師勉強会	Xマス制作/Xマス会/個別面談	初詣・成人式
2月		個別面談・遠足事前学習	ごっこあそび・個別面談	バレンタイン チョコ制作・卒	初詣/書初め/すごく作り	節分イベント

				園前遠足		
3月	評議員 会・理事 会	動物園遠足・卒園 式	うたあそび 卒園・進級をい わう式	リクエスト遊 び・看護師勉強 会卒園式・手 型・足型	節分/バレンタイン調理	

5. 利用計画

特別支援学校卒業後の活動の場として、生活介護オレンジの利用者増が見込まれる

	定員	29年度見込（1日平均）		30年度計画（1日平均）	
		利用者人数	開所日数	利用者人数	開所日数
児童発達支援ひだまりっこ	10名	9.6名	278日	9.6名	278日
児童発達支援ひだまりっこピーチ	10名	4.6名	77日	4.6名	231日
児童発達支援ひだまりっこα（主に重心）	5名	4.6名	228日	4.6名	231日
放課後デイサービスひだまりα（主に重心）	5名	4.9名	229日	4.9名	231日
放課後デイサービスひだまり	10名	6.5名	281日	6.5名	280日
生活介護オレンジ	20名	17.5名	281日	19.5名	280日
日中一時支援くりむ	—	3.5名	281日	3.5名	280日

6. 研修事業

両研修とも募集人員20名

喀痰吸引研修（講義）（実地）	5月～ 3月 毎週土曜日予定
介護職員初任者研修（障がい者対応）	8月～ 1月 毎週土曜日予定

7. 職員講習会・研修

階層別研修（初級）	4月～ 過去1年以内に就業したスタッフ
救急救命講習会	9月頃予定
強度行動障がい者研修	10月頃予定

8. ぶるーむクラブ

地域の子どもたちの居場所づくりとして28年10月からスタートした「ぶるーむクラブ」は、29年度より第1・3木曜日、第2・4月曜日（祝日除く）の月3～4回開催しました。回を重ねる毎に、定着してきて毎回30人を超える参加人数となっています。

<29年度参加人数実績> 4～1月

(人)

	利用者					見学者	ボラン ティア	合計
	未就学児	小学生	中学生	大人	計			
35回合計	153	167	56	222	599	49	512	1,160
1回平均	4	5	2	6	17	1	15	33

9. 会議体

定例会議

ぶるーむミーティング	毎月	各事業所管理者
リスク・マネジメント委員会	隔月	各事業所管理者（ひやりはつと報告）

スタッフミーティング	毎月	ひだまり・ひだまりっこ・アルファ・オレンジ
ヘルパーミーティング	毎月	アライブ

監査・役員会議

監事監査	5月予定
理事会	5月・3月予定
評議員会	6月・3月予定

10. 広報活動

ホームページ	URL http://bloom.or.jp/ 毎月更新
広報誌「ぶるーむ通信」	季別発行
オープンガーデン公開	柏市カシニワ制度

11. 人員体制

	29年度 (4/1) 人数	30年度(4/1現在)								
		人数		看護師	介護福祉士 社会福祉士 精神保健福 祉士	※ヘルパ ー2級・ 初任・実 務者研修	相談支援 専門員	教員・ 保育士	ST・PT	喀痰 吸引 研修
		男性								
正職員	24	27	6	3	13	5	4	4		6
契約職員	43	61	3	3	13	14	1	11	2	4
常勤ヘルパー	2	2	1		1	1				2
登録ヘルパー(専任)	6	8			5	3		1		3
派遣スタッフ(送迎)	3	4	4							
合計	78	102	14	6	32	23	5	16	2	15

※複数資格保有重複あり(介護福祉士のヘルパー2級等との重複は除く)

以上